

大項目	項目	S	A	B	C	D
課題適格性	文章量・文書書式は指示通りであるか		指定文字数との差5%以内	指定文字数との差10%以内 正当な段落・見出し書式	指定文字数との差20%以内	それ以上差がある
	要求された課題に沿った内容であるか	要求に応えられており、さらに独自の価値を提示している	要求にすべて応えられている	要求に即した内容である	要求に関する内容であるが、要求をカバーできていない	要求に則していない
文章適格性	語句・キーワードは的確に用いられているか		専門用語が学術的に適切に用いられており、概念定義も正当に出来ている	指示対象に対して適切な語句・用語が選択されている	指示対象が不明確な語句が一部用いられている 用語の意味・使い方に一部誤りがある	指示対象が不明確で何が書かれているか読み取れない文が数多くある 用語の使い方に誤りが多数ある
	文が日本語として成立しているか 一文一義を意識できているか 接続詞は適切に使われているか		一文一文が論理的に明確にして簡潔に書かれている	主語述語のねじれがなく、一文一文が日本語として自然である 文が論理的に繋がっている	主語と述語のねじれがあるなど、日本語として不自然な文が一部ある	主語と述語のねじれがあるなど、日本語として不自然な文が数多くある
	パラグラフライティングが出来ているか (段落が適切に使われているか)		トピックセンテンスを抽出して読んだ時論理の流れが作られている	主要な段落でトピックセンテンスがどの文であるか指摘できる	段落分けに意義・意図が認められる 一段落が一つのまとまりを持っている	段落わけがなされていない 段落が論理的に切られていない
	引用は適切に出来ているか 文献一覧は正しく作られているか	日本では未紹介の論文・専門書を紹介し、そこから引用している	外国語で書かれた論文・専門書を原書から正確に訳出して引用している	引用が主張の根拠となっている	引用がない 形式は守られているが引用する意味がない	引用の形式が守られていない
	図表は適切に用いられているか (図表がある時のみ)	独自に集めたデータを用いて図表を作成している	図表の作りや使い方に工夫があり、主張の説得力を増すのに貢献している	図表が主張の根拠となっている	図表と本文の関係が不明確である	文字数を稼ぐための無意味な図表が使われている
論文としての価値	タイトル（論文名）は適切か	タイトルが学術的に興味を引くものである	タイトルの中にその論文の学術的意義が提示されている	論述対象範囲が具体的にタイトルの中で指示されている	タイトルが一般的・抽象的で論述対象が絞り込まれていない	何を論じているのかがタイトルから読み取れない
	論文の問い・目的（論点）は明確か	論点に独自性があり、学術的に意義がある	論点が的確に整理して提示されている	問いはなんであるか、何を目的とした論文であるかが明確に読み取れる	問いや目的がなんであるかが説明されている	問いや目的がなんであるかが触れられていないか、全く読み取れない
	問いの背景を説明し、問いの意義を提示しているか (先行研究の紹介等)	従来紹介されていない先行研究を意義を持って紹介している	先行研究の紹介に一定の独自性を示している	先行研究を踏まえるなどして、問いの意義価値を説明できている	問いの背景について何らかの説明・紹介がなされている	問いの背景について触れられていない
	問いに対する答えは明確になされているか	問いに対する答えに学術的に一定の新奇性がある	問いに対して説得力のある答えが提示されている	問いに対する答えが問答として成立している	問いと答えのペアが読み取れる	問いと答えのペアが読み取れない
	答えを導く根拠は具体的に提示されているか	上げられた根拠の内容に学術的に新奇性がある	根拠が論証に対して十分説得的である。	論証一つ一つに対して具体的な根拠を示している	論証に対して具体的な根拠を一部示している	根拠が提示されていないか、具体性に欠き、根拠として不適正なものしかない
	論文の構成になっているか (章立てが適切になされているか)	章のタイトルを追えば論文の概要が理解できる	各章が論文構成に則した内容となっている	各章が章としてまとまりを持って書かれている	3つ以上の章に分かれている	章立てがなされていない 章が二つしかない

大学院入試水準

卒業論文要求水準

一般レポート要求水準

単位が出る最低水準

不合格